

## 令和4年度第2回刈谷市ごみ減量化推進会議議事録

日 時	令和5年2月14日（火）午後2時00分～午後3時20分
場 所	刈谷市役所1階 101会議室
出 席 者	ごみ減量化推進会議委員 10名出席／19名 事務局 産業環境部長、ごみ減量推進課長、課長補佐、資源・管理係長、減量・収集係担当者
議 題 等	<p>議題</p> <p>(1) 一般廃棄物処理基本計画の策定について</p> <p>ア ごみ処理に係る本市の現状と課題について</p> <p>イ ごみ処理の新たな動向について</p> <p>(2) 市民アンケート調査の実施について</p> <p>その他</p> <p>(1) リユースに関する取り組みについて</p>
<p>議題 (1) 一般廃棄物処理基本計画の策定について</p> <p>ア ごみ処理に係る本市の現状と課題について 配付資料1ページ～6ページに沿って説明</p> <p>イ ごみ処理の新たな動向について 配付資料7ページ～8ページに沿って説明</p> <p>&lt;質疑応答&gt;</p> <p><b>【委 員】</b>資料2ページで刈谷市では1人1日当たりのごみの量が多いが、最終処分減量に要する費用は安い。これは最終処分減量のために使う機械の質が良いということか。</p> <p><b>【事務局】</b>中間処理するための人件費や機械の設備費が少なく、効率的に処理できていると考えられる。</p> <p><b>【委 員】</b>最終処分減量に要する費用の中には、中間処理の費用が含まれるのか。</p> <p><b>【事務局】</b>最終処分の費用は含まず、中間処理の費用になります。</p> <p><b>【委 員】</b>資料7ページのプラスチックの資源循環について、プラスチック製容器包装の袋に何を入れて良いのか分からず、悩む人が多いのではないか。また、不燃ごみの袋については、プラスチックに限らず、ありとあらゆるものを入れることができる。プラスチックだけの袋を作るとリサイクルの促進が図れるのではないか。</p> <p><b>【事務局】</b>プラスチック資源循環促進法では、すべてのプラスチックを一括回収することも想定している。刈谷市として今後どのような収集方法が良いのか考えたい。</p> <p><b>【会 長】</b>プラスチックだからといって、燃やしてしまうと、無駄が大きい。市の広報活動等も含めて、収集について考えてほしい。</p>	

【事務局】刈谷市ではプラスチック製容器包装のほかに、バケツなどの硬いプラスチックは不燃ごみ、ストローなどの柔らかいプラスチックは燃やせるごみで回収している。不燃ごみで集めたプラスチックも、ただ燃やしているわけではなく、リサイクルしている。

【会長】プラスチック製品に関しては過去、容器包装リサイクル法という法律が制定され、生産者側がリサイクルの費用等を負担していたが、制度が限界を迎えている。プラスチック資源循環促進法では、業界の努力だけではなく、市民の行動も必要でありプラスチックが燃えるごみにならないよう考えていかなければいけない。分別ができていないと分別作業でさらに人数が必要になる。

【委員】ごみの分け方出し方はガイドブックにあるが覚えられないので、ごみ置き場に文字だけでなく絵も入れたパネルなどを設置しても良いのでは。まずはモデル地区で作ってみて展開するのはどうか。

【会長】他には、パネルなどにQRコード等を表示して、ごみの分け方について啓発してはどうか。全員がスマホを扱うのが無理でも、7割位の市民がアクセス出来ればよいと思う。コロナで市民はQRコード等慣れてきたのではないかな。

【委員】QRコードを指定回収袋につけてはどうだろうか。時代に合った方法を考えてほしい。

【委員】排出する人へのごみの出し方の周知も重要だが、出されたごみを自動分別できるような機械を刈谷市が導入してはどうか。

【会長】人工知能に覚えさせる手間もあり処理コストは上がるが、人材や人件費の問題を解決するためにも色々なアイデアを検討できるのではないかな。

【委員】ラベルが貼ってあるビンなど、剥がすのが難しいものがあり困っている。

【会長】ごみの分別が難しいごみもある。企業もごみを排出することを考えた製品開発が必要である。

【会長】資料8ページからの食品ロス削減の推進だが、全国的に食ロス問題が注目されている。目標値を設定して施策を展開していくことが重要である。

【委員】フードドライブを4年ほど行っている。市民から消味期限切れ前の不要となった食べ物を受け付け、必要な場所に持って行く取り組みだが、市内の子ども食堂に「必要ない」と言われた。現在は福祉施設に持って行っている。行政に相談しても「斡旋していない。」とのことだが、協力してもらえるとありがたい。

【事務局】市では直接子ども食堂に関わってはいないが、福祉系の部署に繋げるということはある。今後、食ロスについて展開していくことを考えている。

【会 長】食ロスは小さい取り組みから初めて広がっていけば、結果として、廃棄物を減らすことができるのではないか。

私の学生で、一人暮らしの者は、使い切れない食材を各自持ち寄り、テーマを決めて料理するといった、食ロスイベントとして楽しんでいる。

【委 員】刈谷市として食ロスについて具体的な取り組みを行っているのか。

【事務局】ホームページや市民だよりなどで啓発広報を行っている。

【会 長】市役所の食堂で余った食材を使った料理を提供できたりすると面白い。

#### 議題（２）市民アンケート調査の実施について

配付資料 9 ページに沿って説明

##### <質疑応答>

【会 長】今回のアンケートは返信用封筒に入れて郵送するとのことだが、QRコードにしてはどうか。QRコードのほうが答えやすい人も多いと思うし、集計作業もしやすいと思う。次回の会議で結果を示してもらえるとのこと興味深い。

#### その他 リユースに関する取り組みについて

配付資料 10 ページに沿って説明

##### <質疑応答>

【委 員】トラブルがあったときの対応はどこが対応するのか。

【事務局】ジモティーがトラブルに対応する。

【会 長】他の個人取引サイトを利用している自治体もあるが、ジモティーがトラブルにしっかり対応してくれるのであれば安心である。

【委 員】消費者生活学校でもリサイクルプラザを運営している。売主は口に入るもの以外はすべて持ち込むことができ、3週間ほど展示する。来館者がそれを見に来て、購入することができる。通常の価格よりも2～3割ほど安く販売している。開始から数10年経過しているが、認知度が足りない。今回のアンケートの中にリサイクルプラザを知っているかどうかを追加できないか。どのくらいリサイクルプラザが周知されているか知りたい。

【事務局】今回のアンケート以外の別の機会も含め検討したい。

【委 員】市民だよりに載せてみてはどうか。

【委 員】市民だよりは掲載しても見てくれない人も多い。

【委員】地区の回覧板だとみってくれる人が多いのではないか。

【会長】情報をいかに共有していくかが大事である。今後は必要な情報が必要な人に届くにはどのようにすれば良いか考えてほしい。  
今回の会議で出た意見を今後の計画策定に役立ててほしい。

閉会